

まちかど アルバム



小さな郵便屋さん

福部保育園

1月31日(月) 福部保育園で「ゆうびんやさんごっこ」が行われました。文字や数に対する園児の興味を深めようと毎年行われているこの行事。ポストに投かんされた友達や先生宛のはがきを年長児が収集、慎重に仕分けて消印を押した後、それぞれのクラスへ配達しました。到着を心待ちにしていた園児たちは、手紙を受け取ると早速、返事を書いていました。

和紙のぬくもりと弦楽の調べ

あおや和紙工房

2月5日(土) あおや和紙工房で「因州和紙あかり展」が始まり、市内で活躍するカプリス弦楽四重奏団がオープニングコンサートを行いました。ステージの後ろには、書家の柴山抱海しばやまほうかいさんが新春書き初め大会で手漉き和紙きごうに揮毫された「四海春しかいのはる」の書。来館者は、弦楽器が奏でる柔らかな音色と、ぬくもりにあふれる和紙の作品に触れ、一足早い春を感じたようです。展示は3月21日(月・祝)まで。



もちつきで国際交流

長谷

1月23日(日)「リフレッシュセンター長谷の里会館」で、鳥取大学の留学生と地元住民がもちつきを行いました。これは、鳥取千代ライオンズクラブが、外国人留学生に日本の食や文化を理解してもらうとともに、地域の人と交流してもらおうと企画したもので、今年で14年目。もちつきは初めてという留学生ばかりで、手と足の位置が分からないなど四苦八苦していましたが、地元の人に声をかけてもらいながら、トチやヨモギ入りのもちを代わがわるつきあげました。

じげの味を給食で

賀露がろ小学校

学校給食の意義や役割について、理解と関心を深めるための全国学校給食週間(1月24日~30日)、鳥取市では「とっりの恵みを味わおう!~学校給食で伝えたいふるさとの味~」をテーマに、小中学校で地元食材を使った学校給食が提供されました。27日(木) 賀露小学校で出された給食は、鳥取港で水揚げされた親ガニの力二汁。家でも食べ慣れている児童たちですが、友だちと一緒に食べる味はまた格別のようでした。



呼吸を合わせて「せーの」

くにふさ
国英地区公民館



1月23日(日) 河原町山手の国英地区公民館で「お話し会となが〜い巻き寿司づくり」が開催されました。催しには、地区内の児童とその保護者約30人が参加。本の読み聞かせグループ「ねえ よんでの会」の読み聞かせの後、全員で巻き寿司づくりに取りかかりました。卵焼きやキュウリなどをすし飯に載せ、「せーの」のかけ声とともに一気にのりを巻くと、約10^{メートル}の長い巻き寿司が完成。参加者から拍手と大きな歓声が上がりました。

初めての^{あい}藍染めに挑戦

佐治町

2月5日(土)と6日(日) 佐治町で「五し祭り」が開催され、さじ谷話やスノーシュー体験など、さまざまな催しが行われました。6日の午前中に「染空間 240」で開催された藍染め体験には、5人の男女が参加。指導員の西尾正道さんにしおまさみちの説明を聞きながら、初めての藍染めに挑戦しました。参加者の中には「家族にプレゼントします」と言って何枚も染める人も...。和気あいあいとした雰囲気の中でオリジナルの藍染め作りを楽しみました。



全員参加の百人一首

用瀬地区保健センター

1月26日(水) 用瀬中学校の「百人一首かるた大会」が用瀬地区保健センターで開催されました。学年ごとに3、4人のグループに分かれて行われた競技には、全生徒104人が参加。独特の調子で読まれる和歌に耳を研ぎ澄ましなが、真剣に札を探しました。札数が少なくなるにつれ、集中度も増し白熱した戦いに...。古典に親しみながら生徒同士の親睦を深める有意義な時間となりました。

防火を誓う「とうがらしみそ」

かちみ
気高町勝見集落

2月6日(日) 気高町勝見集落で伝統の「とうがらしみそ」行事が行われました。江戸時代に大火で焼け出された住民が、ゴマと砂糖、とうがらしを加えた味噌みそをなめながら復興に励んだとの言い伝えを元に、毎年行われているこの行事。当日は、昼から集落の役員が公民館で約40kgのとうがらしみそを作り、夜には住民が薬師堂に集まってとうがらしみそをつけたおにぎりおにぎりを食べて、昔の人の苦勞をしのびました。



屋根の上で大雪と格闘

国府町

この冬、想定外の大雪に見舞われた国府町では、社会福祉協議会国府総合福祉センターの職員と、同センターが募集した一般ボランティア、国府町総合支所の職員で結成した除雪隊が、各集落で高齢者宅の除雪を行いました。2月2日(水)は、国府町なわしろと雨滝あめだきの2集落。2^{メートル}近く積もった屋根の雪を下ろし、玄関先から道路までを除雪する重労働に、滝のような汗を流している隊員たちでしたが、住民の感謝と励ましの言葉に疲れを忘れて頑張っていました。

